

市川第 20100730-0068 号

平成 22 年 8 月 30 日

市川市幼児教育振興審議会
会長 高尾 公 矢 様

市川市教育委員会
委員長 宇田川 進



諮 問 書

市川市幼児教育振興審議会条例第 2 条の規定に基づき、
次のとおり諮問します。

記

(1) 公立幼稚園の今後のあり方について

- ①公立幼稚園のあり方についての基本的な方向性について
- ②公立幼稚園のあり方についての短期的な方向性について
- ③公立幼稚園のあり方についての将来的な方向性について

公立幼稚園の今後のあり方について

諮問理由

本市においては、私立幼稚園と公立幼稚園が相互に補完し合いながら幼児教育を担ってきたところであるが、近年、少子化による幼児人口の減少や就労形態の多様化に伴う保育需要の増大等により、幼稚園需要は減少傾向にある。公立幼稚園においては、地域により就園率に高低差が生じており、私立幼稚園でも定員を満たしている園が少ない状況となっている。

このようなことから、私立幼稚園との共存も視野に置きながら、今後の公立幼稚園の方向性、果たすべき役割を明確にしていくことが求められていることから、諮問するものである。

諮問内容

①公立幼稚園のあり方についての基本的な方向性について

○ 当面、北部・中部・南部の3園を基幹園として残し、「公」の役割を果たす

当面は北部（百合台幼稚園）・中部（大洲幼稚園）・南部（南行徳幼稚園）の公立幼稚園3園を基幹園として残し、「公」の役割を果たしていく。

【「公」の果たすべき役割】

- ①統合教育の推進 …… ・知的障害児の特別支援学級（ひまわり学級）での受け入れ。
・言うことを聞いてくれない、かかわり方が分からないなどの「気になる子」の受け入れ。
- ②教育機会の確保 …… 低所得世帯の児童に対する教育機会の確保。
なお、公立幼稚園の保育料の見直しを併せて行い、低所得世帯の負担軽減と高所得世帯の適正な受益負担となるよう今後検討していく。
- ③幼児教育の研究 …… 経験豊富な幼稚園教諭が多いという公立としての人的資源を生かし、特別支援教育を含めた幼稚園教育の研究・実践および研究成果の共有・提供による幼稚園教育の資質向上を図る。

- ④子育て支援施策 …… 幼児期の教育に関する相談や支援・情報提供、子育て支援など、地域における幼児期の教育センターとしての機能の充実。

【「基幹園」として考えられる機能】

- ①特別支援学級（ひまわり学級）による統合教育の実施
- ②統合教育相談員を配置し、公私立幼稚園への巡回指導
- ③幼児教育相談員を配置し、幼稚園教諭や保護者からの相談対応
- ④特別支援教育を含めた幼稚園教育の研究・実践および研究成果の共有・提供

○ その他の園については、廃園可能な園から順次廃園していく

基幹園を除く公立幼稚園については、今後の就園状況や私立幼稚園を含めた地域の実情、バランス等を考慮しながら、他の園で補完が可能となった園から順次廃園していく。

なお、廃園の検討にあたっては、就園率のみではなく、就園児童数（推計含む）および周辺幼稚園の受け入れ可能状況等を十分考慮し、計画的に行うものとする。

②公立幼稚園のあり方についての短期的な方向性について

○ 稲荷木幼稚園は廃園、二俣幼稚園については休園の方向で検討

【稲荷木幼稚園について】

・稲荷木幼稚園については、就園率が低く、就園児童数も減少してきており、今後においても園児の増加が見込めないことから、廃園の方向で検討していく。

【二俣幼稚園について】

・二俣幼稚園については、就園率が低く、就園児童数も減少してきており、今後については、就園児童の50%以上を占める二俣防衛省宿舎から通う児童が、平成25年度中の宿舎廃止に伴い激減することとなることから、休園の方向で検討していく。

なお、建替えを含めた今後の防衛省宿舎の動向を見ながら、最終決定をしていく。

○ 稲荷木幼稚園廃園後の施設活用については、関係部署と協議していく

稲荷木幼稚園廃園後の施設活用については、

①ことばの教室のあり方

②幼児教育センター構想との関連

③具体的な施設活用

—— 等について、こども部を含む関係部署と協議していく。

③公立幼稚園のあり方についての将来的な方向性について

○ 国の一本化施策の動向を見極め、将来像を決定していく

公立幼稚園の将来的方向性については、現在、国が検討を進めている「幼稚園」「保育園」「認定こども園」の一本化施策の動向を見極めた上で決定していく。

なお、現状制度においては、将来的に条件が整えば、幼児教育の役割をすべて私立幼稚園の委ねることも方向性のひとつと考えられる。